

SERVICE INTRODUCTION



生成AI × 業務アプリケーション

議会答弁準備を「一気通貫」で効率化

京都電子計算株式会社 | 2026.08

© 2026 Kyoto Information Processing Service Co., Ltd.



会社概要

会社名	京都電子計算株式会社 Kyoto Information Processing Service co.,ltd.
代表者	代表取締役社長 森口 健吾
設立	1964年10月1日
従業員数	319名（2026年4月1日現在）
事業内容	クラウドサービス、機器販売、ネットワーク構築、セキュリティ支援サービス、システム運用支援・保守、情報処理サービス、各種BPOサービス 等



「Cloud PARK」の主なサービス

答弁生成支援サービス「Ansクイック」

AI手書き文字認識サービス

RPA配信サービス

ファイルデリバリーサービス 等

目次

PART 1

サービスのご紹介

市場背景

現場の課題

サービス概要

3つの特徴

汎用AIとの違い

導入前後の変化

PART 2

機能・運用のご紹介

ワークフロー

AI下書き生成

過去答弁の活用

答弁の自動生成

ペーパーレス

その他機能

機能一覧

セキュリティ

PART 3

プラン・トライアルのご案内

プラン

無料体験版・無料トライアル

お問い合わせ／その他情報

PART 1 |

サービスのご紹介

Ansクイックの概要や特徴をご説明します

市場背景

現場の課題

サービス概要

3つの特徴

汎用AIとの違い

導入前後の変化



なぜ今、議会答弁に生成AIなのか

自治体の生成AI活用が、議会業務にも急速に広がっています（総務省調査）

市区町村の生成AI導入状況

実証・予定等を含めると、全体の88%が導入に着手

46%

88%

■ 導入済

■ 実証・予定等

生成AIの活用事例「議会の想定問答の作成」

1,085件

活用事例ランキング 第3位（前年の5位から上昇）

2年で約7.5倍（令和5年145件 → 令和7年1,085件）

● 生成AI×議会業務の活用は全国に拡大。

ただし“答弁作成の効率化”と“議会準備の効率化”は別物で、後者は業務アプリケーションでなければ実現できません。

出典：総務省「自治体における生成AIの導入状況（令和7年度）」令和7年10月末時点

議会答弁準備の現場で、起きていること

Ansクイックへの問い合わせから見た、生成AI活用と議会業務の課題

生成AI活用に対する課題

- チャット型AIを実証したが、利用率が伸びず未導入
- 個人判断での利用に留まり、全庁への広がりがない
- プロンプトの習熟度の差が、成果物の差に直結してしまっている
- 汎用AIでは議会特有の言い回しや前例に対応できない
- どこまで入力してよいか判断できず、利用を躊躇してしまう

議会業務に対する課題

- 議会対応の年間業務量が多く、職員の負担が大きい
- 準備段階から紙で印刷・配布、紙の消費と手間が非常に大きい
- 検討会も紙運用、修正は口頭伝達、校了までのフローが煩雑
- 経験が浅いと書き方が分からず、作成に時間を要する
- 過去答弁との整合、市の施策との適合の確認が必要

- ある自治体では、質問通告から答弁書精査までの4～5日間、関連メンバーが連日6時間の時間外勤務。
この負担を生成AIで解消したい。けれど進め方が分からない、試したが成果が出ない。そうした自治体が増えています。

Ansクイックとは

議会答弁の「作成」と「管理」を一気通貫で支援する、答弁生成支援サービス

生成AIで質問要約・答弁作成を行うだけでなく、作成した答弁・質問者・会議の管理まで含めて、議会答弁準備を包括的に支援します

Ansクイックのポジション — 「ハイブリッド型」

チャット型

汎用の対話型生成AI

生成AI	◎
業務特化	×
管理	×

管理DB型

議会答弁の管理システム

生成AI	×
業務特化	◎
管理	◎



ハイブリッド型

生成AI	◎
業務特化	◎
管理	◎

※ 競合サービスとの比較ではなく、生成AIサービスの「類型」として整理しています。

Ansクイック 3つの特徴

FEATURE 01

1

プロンプト不要で、誰もが等しく高品質

複雑なことはAnsクイック側で、基本操作は入力とクリックのみ。職員のITスキルを問わず、等しく高品質な答弁下書きが得られます。

FEATURE 02

2

「答弁作成」だけでなく、議会業務フロー全体を効率化

質問登録・担当割当・作成・承認・校了・公開の6ステップを一気通貫で管理。議会準備業務の流れを明確化し、議会業務全体を効率化します。

FEATURE 03

3

ペーパーレスと、シームレスな各課間のやりとり

Wordやメール、大量の紙印刷・配布、差し戻しの往復など、煩雑になりがちな議会準備の運用もワークフロー機能で効率化。ハイライトと答弁検討会モードで、紙と往復から解放します。

汎用型の生成AIとの違い

「幅広く使える汎用AI」と「議会業務に最適化したAnsクイック」

汎用型 生成AI（チャット型）

チャット形式の対話型で回答を得る。幅広く使える個人ツール。

メリット

業務を限定せず幅広く活用できる

デメリット

使い手のスキルによって結果に差が出る

Ansクイック（議会業務特化）

生成AIを組み込んだ業務アプリケーション。議会答弁に最適化。

メリット

プロンプト不要。誰もが等しく質の高い結果を得られる

デメリット

特定業務での利用に特化

※ 汎用AIを否定するものではなく、用途に応じた「使い分け・共存」をおすすめしています。

導入前後で、議会答弁準備はこう変わる

AIが“探す・書く”を肩代わりすることで議会答弁準備の工程全体を効率化し、空いた時間を住民サービスへ



- 議会答弁準備の運用自体を効率化。生まれた時間は、住民と向き合う時間へ。

※ 工程・時間配分はイメージです。導入効果は自治体ごとに異なります。

PART 2 |

機能・運用のご紹介

議会業務フローに沿って、主要機能と運用をご説明します

ワークフロー

AI下書き生成

過去答弁の活用

答弁の自動生成

ペーパーレス

その他機能

機能一覧

セキュリティ



議会答弁準備フロー全体を一気通貫で管理

質問の登録から公開まで、各担当の作業を関係者全員でリアルタイム共有



- 登録から公開まで、すべての作業履歴とステータスがシステム上で共有され、各課間のやり取りが滞りません。

※ 役割名・権限はあくまで一例です。各自治体の運用に合わせて柔軟に設定できます。

AIが答弁の下書きをワンクリックで生成

プラン共通

完成度の高い下書きからスタートし、作業時間を大幅に削減

議員からの質問

過去答弁

自治体施策

**AIが下書きを生成**

AIが生成した答弁の下書き（例：防災）

本市では、近年頻発する台風や豪雨、地震などの自然災害に備え、市民の生命と財産を守るため、様々な防災・減災対策を推進しております。まず、行政と市民、企業等が連携し、自主防災組織の結成と活動を積極的に支援しています。各小学校区ごとに自主防災組織が結成されており、これらの組織では防災訓練や防災教育、資機材の備蓄、避難に関する訓練など、地域の実情に応じた活動を継続的に実施しています。また、地区防災計画制度については、現時点で地域住民主体で作成した計画はありませんが、今後も自主防災組織の活動を発展させることで、より地域に根ざした防災体制の強化を図ってまいります。

災害発生時の情報伝達については、広報車による巡回広報、エリアメールや安心安全メール、報道機関を通じた情報提供に加え、平成30年度から同報系防災無線の整備を進めており、災害情報を一斉に市民へ伝達できる体制の強化を図っています。広報車は各中学校区に1台配置し、避難所開設等の広報を行っておりますが、今後も運用の工夫や職員への指導を通じて、より確実な情報伝達に努めてまいります。

- 答弁作成担当者は、AIが生成した下書きの「**加筆・修正**」から業務を開始できます。プロンプトの知識やテクニックは不要です。

過去答弁を、AIで検索・活用

プラン共通

議会答弁の資産をシステム内に蓄積し、質問文そのままに関連答弁を抽出

01

蓄積

Ansクイックで作成した答弁が自動で蓄積。過去の答弁はExcel/CSVで一括インポートも可能

02

AI検索

質問内容から、関連性の高い過去答弁や施策をAIが順に提示

03

活用

選ぶだけで、過去答弁の具体的な数字や表現を踏まえた下書きを生成

こんな現場の声に

「大型台風が来ると、ほぼ毎回うちの洪水対策の質問がくる。前の答弁、どこだったかな…」

→ Ansクイックなら

質問内容に適した過去答弁や施策をAIが瞬時に提示します。

答弁の自動生成

アドバンス

担当割当の後、AIが関連性の高い施策・過去答弁を自動選択し、下書きまで生成

通常 / ベーシック・プラス

質問登録

担当割当

施策・過去答弁をAIが提示

AIが下書きを生成

加筆・修正

自動生成 / アドバンス

自律型 — 人による選択が不要

質問登録

担当割当

AIが施策・過去答弁を自動選択し、下書きを生成

加筆・修正

- 担当者は**すでに1案ある状態**から作成業務を開始。施策や過去答弁を選択する必要もなくなり、さらなる業務効率化が見込めます。

※ ベーシック／プラスでは、AI検索で提示された候補から担当者が選択して生成します。

ペーパーレスで、各課がシームレスに

プラン共通

紙とメールの往復をシステム内で完結。会議もそのまま画面で

ハイライト機能

- 承認・差戻し時に、変更箇所を承認者が即座に確認可能
- 「どこが変わったか」を探す手間をなくします
- 履歴も追えるため、だれが・何を行ったのか把握できます

答弁検討会モード

- 対象議会の答弁を一覧で表示
- 大画面に投影し、集まったメンバーがその場で共同修正・承認
- 検討会のための紙の印刷・配布が不要になります

- 配布 → 作成 → 確認依頼 → 差し戻し・修正 → 検討会… の煩雑な流れを、**すべてシステム内で完結**します。

その他の便利機能

議会準備をさらに支える、きめ細かな機能群

想定追加質問機能

アドバンス

答弁に対する議員からの追加質問をAIが想定して生成。ゼロから考えるより円滑に議会準備を進められます。

追加指示機能

プラン共通

答弁生成時に追加の指示・付随情報を指定でき、より意図に沿った答弁に近づけます。

NEW

議事録取り込み

プラン共通

過去答弁のインポート時に、公開議事録のファイルからAIが質問と答弁を自動抽出。確認・修正して一括登録できます。

※ 一部機能はプランにより対応範囲が異なります（次ページ「機能一覧」をご参照ください）。

分類	機能名	ベーシック	ベーシック プラス	アドバンス
答弁関連	質問登録と要約	✓	✓	✓
	答弁生成（施策・過去答弁・表データの活用）	✓	✓	✓
	自治体施策（PDF冊子）活用	—	—	✓
	未整備過去答弁の活用	—	—	✓
	答弁自動生成	—	—	✓
	想定追加質問機能	—	—	✓
	追加指示機能	✓	✓	✓
	文章量指示機能	—	—	✓
	AI生成結果の比較検討／修正箇所ハイライト	✓	✓	✓
	過去答弁検索	✓	✓	✓
データ 管理	施策／ユーザ／役職／部課／会議／質問者の管理	✓	✓	✓
	作成した答弁の管理（検索・インポート/エクスポート）	✓	✓	✓
	議事録取り込み	✓	✓	✓
共通	ワークフロー（質問登録～公開）	✓	✓	✓
	答弁検討会	✓	✓	✓
	効果可視化レポート	✓	✓	✓

LGWAN版／インターネット版に対応

自治体のサービス特性に合わせて、2つの提供環境から選択できます

LGWAN版

各データは閉域網（LGWAN内）で保存・検索

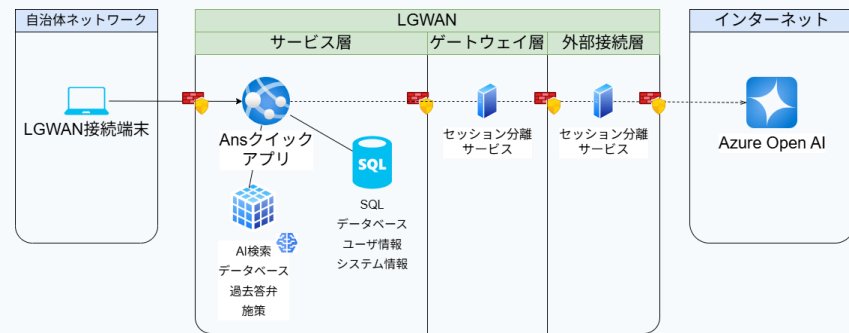
一般的な生成AIはクラウドで保存・検索しますが、LGWANの特性を考慮し閉域網で構築しています。

インターネット版

施策・答弁は生成時のみAIに送信、保存はしない

ユーザ情報・システム情報は送信されません。

システム構成図（LGWAN版）



- 生成AIエンジンは **Azure OpenAI** を利用 | LGWAN版・インターネット版で共通

PART 3 |

プラン・トライアルのご案内

プランと、無料でお試しいただける2つの方法をご案内します

プラン

無料体験版

無料トライアル

お問い合わせ／その他情報



サービスメニュー・プラン

業務量・ご利用範囲に応じて、3つのプランからお選びいただけます

項目	ベーシック	ベーシックプラス	アドバンス
生成AIエンジン	GPT-4.1 mini	GPT-4.1 mini	GPT-5.1
生成時に利用できる過去答弁数	1つ	3つ	5つ
自治体施策の文字数	500文字	3,000文字	4,000文字
生成時に利用できる自治体施策数	1つ	3つ	5つ
表データ	7行×7列	20行×15列	20行×15列

※ プラン毎の機能差につきましては、P18「機能一覧」をご確認ください。

- いまなら 無料トライアルを**最大1年間**ご利用いただけます（詳細は次ページ）。

無料で試せる、2つの方法

目的に合わせて「ライトな体験」と「本番での実証」をお選びいただけます

無料体験版

まず一度、触ってみたい方へ

ライトに操作感を体験（最大1か月）

- 画面イメージ・操作感を手軽に確認
- 環境はベーシックプラン、答弁作成中ステップまでを気軽に体験
- テストデータ入りのため、準備は不要

無料トライアル

本格導入を検討する方へ

本番環境で実証実験（最大1年間）

- 実際の業務に沿って導入効果を検証
- 3プラン（ベーシック～アドバンス）から選択
- 登録データは本導入後もそのまま利用可能

- 「まず触れてみる」体験版から、「じっくり実証する」トライアルへ。段階的にお試しください。

お問い合わせ／その他情報

ご質問・お申し込み・資料請求は、お気軽にご連絡ください

クラウドサービス部 サービス営業課

Mail pcloud_sales@kip.co.jp

Cloud PARK <https://cloudpark.jp>
(資料請求・お問い合わせ)

無料体験版 お申し込みフォーム

<https://pqsv01.kip.asp.lgwan.jp/trial>

※ LGWAN接続端末からアクセスしてください

インタビュー記事（三重県菰野町）

自治体通信 74号 に
2026年6月号

掲載 されました



記事はこちら

https://www.jt-tsushin.jp/articles/case/jt74_kip

「Ansクイック 自治体通信 事例紹介」で検索

SERVICE INTRODUCTION

